

平成29年度ジェネリック医薬品使用状況

厚生労働省では増大する国民医療費を抑制する取組の1つとして、ジェネリック医薬品の使用を促進し、使用割合が80%になることを目標と定めています。

共済組合としてもなるべく早い段階で目標値に到達することを目指し、促進してきたいと考えています。

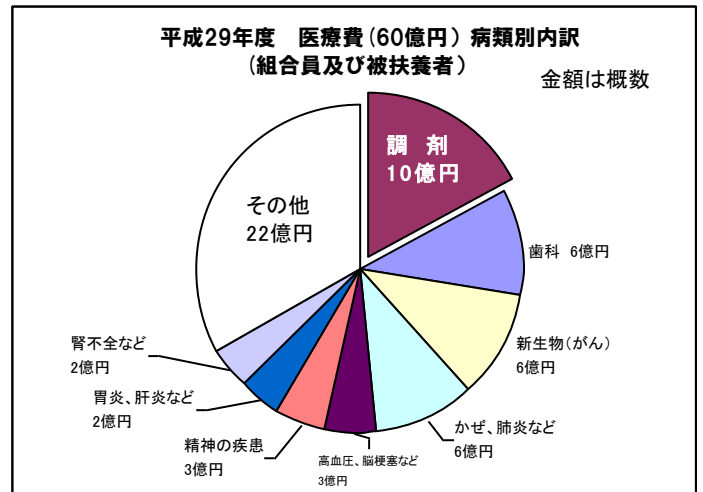
については、平成29年度のジェネリック医薬品使用状況をお示しします。

グラフ1

圧迫する調剤費！

当組合が平成29年度に医療機関に支払った医療費（組合員及び被扶養者）は60億円を超えており、主な内訳を見てみると、グラフ1のとおり調剤費だけで10億円（全体の6分の1）を超えています。

調剤費をどれだけ抑えるかが、国民医療費を抑制するための鍵となります。

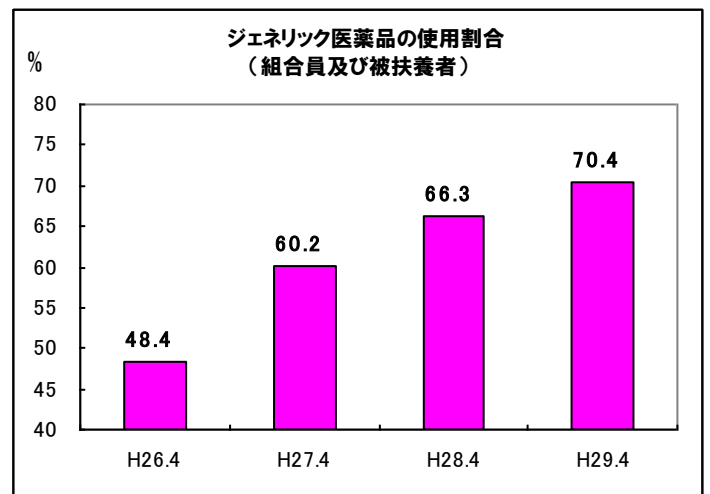


グラフ2

ジェネリック医薬品の使用割合と目標値

ジェネリック医薬品にかかる使用割合の目標値については、平成29年度に70%以上、平成30～32年度までのなるべく早い時期に80%以上となっています。

当組合では、グラフ2のとおり、年々増加傾向にあり、平成29年には使用割合70.4%と、国の目標値である70%以上を達成しています。



グラフ3

しかし九州の他県と比較すると…

グラフ3のとおり、当組合はまだ低い割合であり（平成29年4月時点）、沖縄県は、既に80%を超えています。

当組合でもなるべく早い時期に80%以上になるように使用促進をしていきます！

